

農業の担い手確保 ～新規参入者等の経営管理能力向上に向けて～

(課題番号 4)

- ◆活動年次：令和4年度
- ◆対象：新規参入者 8戸、農業支援員 4名

1 課題の背景

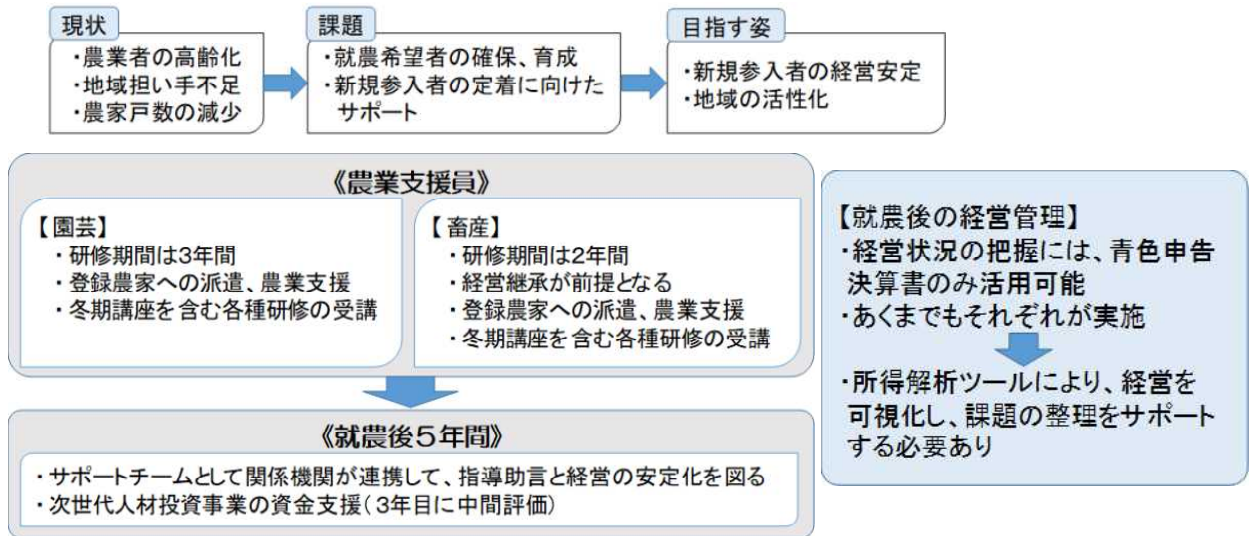


図1 農業支援員から新規就農までの流れ

2 活動の経過

- 個別巡回、関係機関による合同巡回により、経営管理の課題整理
- 道総研中央農試と連携し、新冠町版所得解析ツール改良を検討
- 既存新規参入者の経営を所得解析ツールで解析し、営農類型作成に活用
- 農業支援員の生産技術習得のため、冬期講座を開催
- 関係機関と連携し、新規参入者向け研修会を開催

表 活動・支援経過

| 実施時期 | 内容 | 対象者 |
|------------|-------------------------|----------------------|
| R4. 4～11月 | 関係機関合同巡回 | 新規参入者 1戸 農業支援員 4名 |
| 随時 | 個別巡回指導 | 新規参入者 1戸 農業支援員 4名 |
| 随時 | 新冠版所得解析ツール改良に向けた道総研との連携 | |
| R4. 8～9月 | 所得解析ツール等を活用した営農類型作成 | |
| R4. 8～10月 | 農業支援員就農計画等支援 | 農業支援員 3名 |
| R4. 5月・12月 | 新規就農講座 | 農業支援員 2組 4名 |
| R5. 3月 | 新規参入者研修会（園芸） | 新規参入者 名 農業支援員 名 |

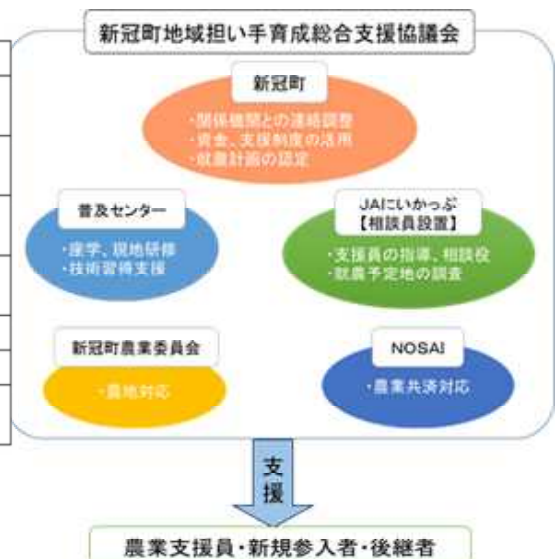


図2 新規参入者等のサポート体制

3 活動の成果

所得解析ツール活用戶数：0戸→1戸（到達度50%）

【経営管理で重要視する項目を整理】

- 「青色申告決算書を活用した所得解析ツール」の活用に向けて、施設園芸、畜産の各経営体において重要視する項目を、新規参入者に個別巡回で聞き取り・整理
- 新冠町版所得解析ツールに反映するために、道総研中央農試農業システムグループと協議

【農業支援員の就農に向けたスキルアップ】

- 新規就農講座により、研修1年目の農業支援員は基礎知識を習得
- 3年目の農業支援員に対する要望を反映した講義
→研修期間を通して自らが疑問点を整理し臨んだことでスキルアップ

【所得解析ツールを活用した営農類型の見直し】

- 既存新規参入者の経営分析から、営農類型を見直し
- 関係機関と情報共有し農業支援員3名の就農計画に反映
→農業支援員に寄り添い、営農継続可能な就農計画を作成

【関係機関と連携した新規参入者の情報共有サポート】

- 新規参入者向けに栽培技術・経営管理の研修会を開催し、5戸が出席
→就農後5年以上経過した新規参入者を含めた意見交換の場をもうけたことで、互いの情報共有やつながりを深めるきっかけになった（写真）
- 「青色申告決算書を活用した所得解析ツール」を2戸が実践
→操作性が簡易であることが理解され、実践につながった



写真 園芸新規参入者研修会



エクセルで動かせるなら、
取り組んでみようかな



グラフは見やすいよね。

4 今後の課題

- ・ 所得解析ツールの完成と実践的活用
- ・ 後継者を含めた新規就農者、農業支援員に対する担い手協議会によるサポート体制強化。